

愛知県 精神医療センター ニュース

作業療法

認定看護師+CERTIFIED NURSE

患者さんの『食べたい』に応えたい

【シリーズ】教えて先生『児童相談所』

INFORMATION

シリーズ

教えて先生!?



6

児童相談所

私は、当センターに赴任する前、名古屋市の児童相談所に5年間勤務していました。今回は、児童相談所についてご紹介します。

児童相談所は、0歳から17歳の子どものあらゆる相談に乗る機関で、都道府県と政令指定都市に設置義務があり、中核市も設置できるようになっています。令和2年7月現在、全国には220の児童相談所があり、この地域には、愛知県が10ヶ所(中央、海部、知多、西三河、豊田加茂、新城設楽、東三河、一宮、春日井、刈谷)、名古屋市が3ヶ所(中央、西部、東部)の児童相談所を設置しています。

相談の種類は大きく5つ、

- 1) 養護相談………父母の家出、死亡、離婚、入院などによる養育困難、被虐待児など
- 2) 保健相談………未熟児、虚弱児、小児喘息など
- 3) 心身障害相談……障害児、発達障害、重度の心身障害など
- 4) 非行相談………虚言、家出、浪費癖、性的な逸脱、触法行為など
- 5) 育成相談………性格や行動、不登校



今号の先生

堀 未来 医師

【好きな食べ物】 フルーツタルト

【マイブーム】 トレーニング

と定義されています。

児童相談所は虐待取り締まり機関、できるだけ関わりたい、と思っている親御さんが多い印象を受けますが、本来は育児支援のための機関です。ぜひご利用ください。

また、最近は児童虐待の報道があると親を責めるムードが高まりますが、親御さんも迷ったり悩んだりして孤立した結果が多いです。困っていそうな親子を見かけたらひと声かけるおせっかいも、大切なのだと思います。育児を楽しめる世の中にしていきたいですね。

INFORMATION

当センターの新型コロナウイルス感染防止について

今年初めから世間を騒がせている新型コロナウイルスについて、様々な感染を防止する対応をしてきました。当センターで実施している対策としては、病院入口での検温やご家族等の面会と入院患者様の外出制限をすることで感染防止をしてきました。また職員は、マスクが不足していた時期には、自らマスクを手作りして使用し、マスクやガウンなどの個人防護具を入院時期や症状別に分けて対策を実施してきました。これからも感染防止対策は続くと思いますが、職員全員が一致団結して乗り越えていきたいと考えています。



「公開講座」「病院文化祭」についてお知らせ

今年度開催予定の「公開講座」及び「病院文化祭」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とさせていただきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い致します。



愛知県精神医療センター
Aichi Psychiatric Medical Center

〒464-0031 名古屋市千種区徳川山町 4-1-7
TEL 052-763-1511
<https://www.pref.aichi.jp/seishiniryō-center/>

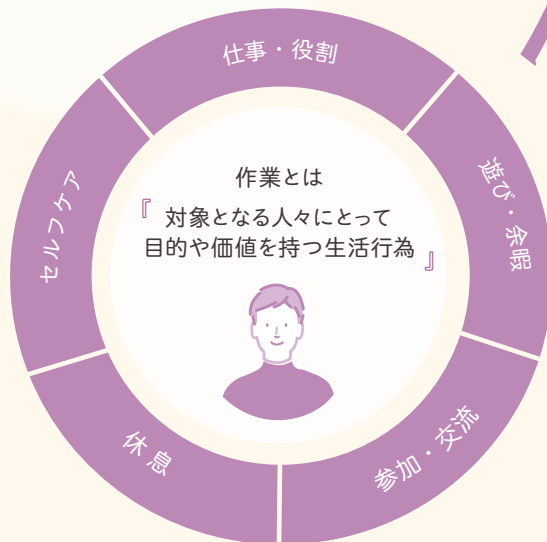


作業療法

○ 作業療法とは

「作業療法って何ですか？」と思われるかもしれませんが。作業療法とは、精神科リハビリテーションのひとつです。かつて、精神科医療は入院治療が中心でした。近年、退院促進、脱施設化に向けてリハビリテーション技法は非常に重要になってきています。基本となる考えは、作業を通して、日常のストレス対処方法を学び、再発を防ぎ、社会参加を進め、社会機能の回復を図ることです。

当センターでは、スポーツ、陶芸活動、創作活動、音楽活動などを行っています。文化祭、夏まつりなどもこれらのプログラムの一環です。リハビリテーションは作業療法士や医療者のみでなく、患者さんご自身、ご家族、地域の皆様とともに作り上げていきたいと考えております。今後とも皆様のご支援のもと励んでまいりたいと思います。何卒よろしくお願いたします。



当院での 作業療法

参加される方の病状の変化や回復段階、生活上の目標や課題、興味などに応じ、提案する作業の選択と調整を行っています。また、作業の特性や環境にも配慮し、参加者それぞれに適したプログラムを考えます。



● 病棟

病棟の作業療法では自分の意志で参加することが第一であると考え、まず興味や楽しさを感じて頂けるよう、心がけております。まずは、ベッドから出られるようになる、作業療法センターに行けるようになる等、段階に合わせた幅広いプログラムを考えています。

作業療法士として 地域でも関わっています

● デイケア

デイケア部門では、成人デイケア・児童青年期デイケアに多職種チームの一員として配属されています。デイケアで過ごされる間に起こること全てを作業活動と捉え、その人に合った活動や過ごし方を提案し一緒に実施させていただきます。

● ACT(包括型地域生活支援)

地域社会で利用者様が暮らす場に訪問すると、様々な生活上の作業に直接関わらせて頂く機会が多いです。「作業」には、その人ならではの意味や価値観が含まれる為、作業に焦点を当てることは、その人らしさに寄り添う事でもあります。私たち作業療法士は、その「大切な作業」について共に丁寧に向き合い、その人らしく生きることのサポートをします。

NEARに 参加された方

受講後思考の偏りが和らいだためか、観念的な考えをして苦しむことが減り、「随分変わったね」と誰よりも家族が喜んでくれました。

創作活動に 参加されている方

毎回楽しく頑張っています。初めての人でも優しく出来ます。珈琲タイム(休憩)もありますので皆さんも是非参加してください。

やわらか頭教室に 参加された方

自分の性質が良く分かり、また、相手のタイプを見極めるヒントがわかったので、これからどう人と関わっていくか考えるうえでとても参考になった。

これらの『作業』は、心と身体、脳に刺激をもたらし、感じる、考える、動くこと(言葉や動作)、といったその人ならではの体験を育みます。心地よく楽しんでうまくいくこともあるかもしれませんが、作業を通して生まれる、この体験や過程を大事にし、専門職の視点で紐解きながら丁寧に寄り添います。そして、その人らしく満足いく形で能力が発揮でき、暮らしや人生の豊かさ、気づきや成長に繋がるよう、必要な援助や工夫について共に考えて歩んでまいります。

摂食・嚥下障害看護認定看護師
花木 かおる

摂食とは食べる、嚥下とは飲み込むことです。私たちは普段、意識しなくても家族と食事をしたり仲間とお酒を楽しんだりしています。食事は親睦を深めるためのコミュニケーション手段でもあります。摂食(食べる)・嚥下(飲み込む)ができないというのはとても大きな問題なのです。

摂食・嚥下障害看護認定看護師
花木 かおる

摂食とは食べる、嚥下とは飲み込むことです。私たちは普段、意識しなくても家族と食事をしたり仲間とお酒を楽しんだりしています。食事は親睦を深めるためのコミュニケーション手段でもあります。摂食(食べる)・嚥下(飲み込む)ができないというのはとても大きな問題なのです。



認定看護師
+ CERTIFIED NURSE

○ 患者さんの『食べたい』 に応えたい